



日本男子チーム表彰式での歓喜の雄叫び



KIN-BALL^{SPORT}
**WORLD CUP &
INTERNATIONAL OPEN
KOREA 2024**



応援支援誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

●キンボールスポーツ ワールドカップ2024 オフィシャルスポンサー 協賛企業一覧（順不同）

※社名、団体名をクリックするとホームページが表示されます。

- ・ [株式会社 COASTLINE](#) 様
- ・ [あなぶきグループ](#) 様
- ・ [株式会社 元創](#) 様
- ・ [ダイキン油機エンジニアリング株式会社](#) 様
- ・ [寿電設株式会社](#) 様
- ・ [アルファノート株式会社](#) 様
- ・ [株式会社森覚貫誠堂](#) 様
- ・ [株式会社サンラッキー](#) 様
- ・ [株式会社デライツ](#) 様
- ・ [若神楼](#) 様

日本代表ユニフォーム





KIN-BALL^{SPORT}
WORLD CUP &
INTERNATIONAL OPEN
KOREA 2024

キンボールスポーツ ワールドカップ & インターナショナルオープン 2024 大会レポート

～日本男子、堂々の金メダル、日本女子、惜敗の銀メダル～



日本男子チーム



日本女子チーム

■大会名

キンボールスポーツワールドカップ 2024

■大会期間

2024年11月5日(火)～10日(日)

※ウェルカムパーティー11月4日(月)

※フェアウェルパーティー11月10日(日)

■場所

韓国・烏山(オサン)市

■部門 2部門

男子部門、女子部門

■参加国と地域

日本、韓国、中国、香港、シンガポール
カナダ、チェコ、フランス、ベルギー、スイス、
ドイツ、デンマーク、スペイン(男子のみ)
13の国と地域

■結果

●男子部門

優勝 日本 JAPAN

準優勝 カナダ CANADA

第3位 ベルギー BELGIUM

●女子部門

優勝 カナダ CANADA

準優勝 日本 JAPAN

第3位 ベルギー BELGIUM

■大会名

キンボールスポーツインターナショナルオープン 2024

■大会期間

2024年11月5日(火)～10日(日)

- ・ウエルカムパーティー 11月4日(月)
- ・フェアウエルパーティー 11月10日(日)

■場所

韓国・烏山(オサン)市

■部門 2部門

●プロ部門(コート上に男子2名、女子2名)

●アマチュア部門(クロースドディフェンス*禁止、コート上に男子2名、女子2名)

※クロースドディフェンスとはヒット時にボールの端から1.8m範囲内で守る守備。公式ルールでは守備チームの1名のみ、そのエリアで守ってもよい。

■参加チーム

●プロ部門 15チーム参加、日本から4チームが参加。

●アマチュア部門 7チーム参加、日本からの参加なし。

■結果

●プロ部門

優勝 Leve Sawyer (日本)

準優勝 LISA (日本)

第3位 IBU with AURORA (日本)

●アマチュア部門

優勝 PumpKins (フランス)

準優勝 Scorpions Bratislav (スロバキア)

第3位 SUNNY (チェコ)

※ワールドカップ2024と同時開催

韓国・烏山(オサン)は韓国の仁川国際空港から車で70～90分程かかる距離に位置しています。首都ソウルからは約1時間。人口23万人の中規模な都市です。

2023年11月に開催されました第3回アジアカップと同じ場所で2019年以来、実に5年ぶりのワールドカップ開催となりました。日本選手団は高見彰団長(一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟会長)をはじめ、石川剛史男子チームヘッドコーチ、柴井健太女子チームヘッドコーチ、高木聡トレーナー、男子選手12名、女子選手12名、その他の役員・事務局として、黒川道子副会長、酒井英登常務理事、田中幸生専務理事付補佐、上山洋史事務局長が参加しました。

ワールドカップは、13の国と地域から(スペインは、男子のみ)の参加がありました。また、国際キンボールスポーツ連盟(本部/カナダ)管轄のレフリーは、カナダ、フランス、ベルギー、そして日本から4名(古賀充レフリー、宇江城卓レフリー、石田幸恵レフリー、玉野裕弥レフリー)が参加しています。また、インターナショナルオープンには日本から2名(町野亮レフリー、阿部一穂レフリー)が参加しています。

今回、日本は2024年2月に代表候補選手を選出し、以降、概ね月1回のペースで合宿・強化練習を行いました。そして2024年5月に男女12名ずつの代表選手を選出し、以降同じく概ね月1回のペースで合宿・強化練習を行い、今大会に臨みました。

今大会は11月4日(月)に宿泊先であるHotel Prumirでウエルカムパーティーが開催されました。また、11月10日(日)大会終了後のフェアウエルパーティーも同ホテルでの開催でした。いずれも開始時間は目安で、各国の皆さんが自由に出入りして開放的な雰囲気でのパーティーを楽しんでいました。

大会期間中は、会場体育館下ピロティーの駐車場の一角に毎日ケータリングカーが来て、地元のボランティアの女性や学生の配膳で温かいお弁当が昼、夜提供されました。必ずお米とキムチが出されていたのですが、各国の選手たちは、苦もなく食べていたのが印象的でした。体育館内にある唯一のカフェも人気で、熱湯に近いコーヒーを求めて連日賑わっていました。

大会期間中、韓国は11月中旬ともなると、朝、夜は上着が必要で、朝は息が白いくらいとても寒く感じましたが、日中は日本でいう小春日和のような日々で穏やかでとても暖かく、毎日快晴で気候にも恵まれた大会となりました。





11月4日ホテル前にて結団式



今大会の各種トロフィー、優勝カップ



開会式後の全体集合写真



毎日お世話になった配膳ボランティアの皆さん



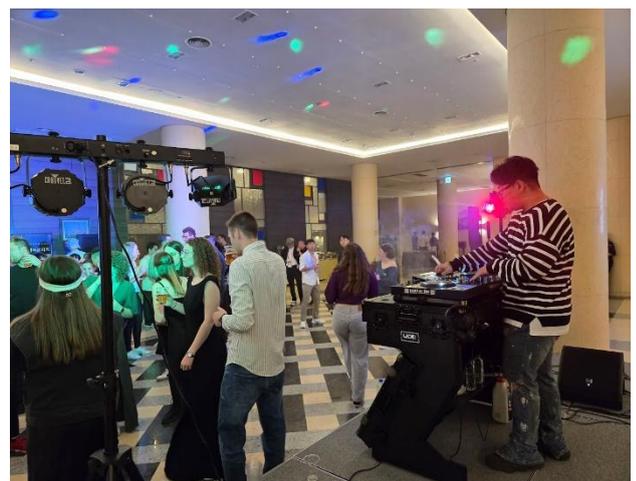
ウォーミングアップ&インターナショナルオープン会場



自国の応援にも目を追うことに熱が入ってきます



閉会式でのアトラクション



フェアウェルパーティー

今回のワールドカップの試合形式は、前回2019年フランス大会の1ピリオド13点先取制の3ピリオド先取方式から1ピリオド11点先取※制の4ピリオド先取方式へと変更となりました。これ以外には大きな変更はなく、前回大会同様に、予選ラウンド、クロスオーバーラウンド、準決勝（エリミネーション）ラウンドを戦い、上位3チームを決め、決勝戦を行うシステムとなっています。

※今大会適用の公式ルールは11点先取制はいずれかのチームが規定の得点（9点）に達したら、3チームの内の最も得点の低いチームがコートから立ち去り（脱落）、その後は残り2チームでそのピリオドを戦い続ける試合方式。

予選ラウンドは、大会前の世界ランキングの上位7チームをプールAとし、ランキング8位以下をプールBとして分け、まずは、それぞれのプール内で予選3試合を行います。日本は男女ともランキング3位でしたので、プールAの7チームの中で予選ラウンドを戦いました。

予選ラウンド終了後、クロスオーバーラウンドが行われました。下図にもあるように準決勝ラウンドに進む9チームの組み合わせを決めるため、プールAの予選6、7位とプールBの予選1位の試合並びにプールBの予選順位2位から4位までの試合となります。

準決勝ラウンドは予選順位の上から3チームずつ戦います。1～3位で戦うブロック、4～6位で戦うブロック、7位～9位で戦うブロックにわけ、1～3位で戦うブロックでは勝てば決勝進出、負ければ負けた2チームと4～6位で戦うブロックで勝ったチームで対戦し、勝てば決勝進出、負ければ負けた2チームとその時点で勝ち残っていたチームで決勝進出を争うという、最後に勝ち残った3チームで決勝を行う方式です。わかりづらい点がありますが、多くの敗者復活戦があり、最終的に強い3チームが決勝に進む実力が反映されたシステムとなっています。今大会は時間の関係等で、予選は、国家斉唱がありませんでした。

November 7th

CROSS-OVER ROUND

After the preliminary games, the teams ranked in 6th and 7th positions in POOL A and the team ranked in 1st position in POOL B will play CROSS-OVER game #1 to determine their ranking for the ELIMINATION ROUND.
 After the preliminary games, the teams ranked in 2nd, 3rd and 4th positions in POOL B will play CROSS-OVER #2. The winning team will take the 9th place for ELIMINATION ROUND.
 The other two teams will not participate in the ELIMINATION ROUND and will be ranked in 10th and 11th positions as their final World Cup ranking.

POOL A					6 th 7 th		POOL B					
1 st	2 nd	3 rd	4 th	5 th	6 th	7 th	1 st	2 nd	3 rd	4 th	5 th	6 th
Going into the rankings as it is ↓					November 7 th CROSS-OVER ROUND (COM 1 / COW 1) 15:15 World Cup: MEN (COURT 1)		November 7 th CROSS-OVER ROUND (COM 2 / COW 2) 15:15 World Cup: MEN (COURT 2)					
					November 7 th CROSS-OVER ROUND #1 17:00 World Cup: WOMEN (COURT 1)		November 7 th CROSS-OVER ROUND #2 17:00 World Cup: WOMEN (COURT 2)					

After preliminary games, the teams ranked in 6th and 7th positions in POOL A play against the team ranked 1st position in POOL B to determine ranking for ELIMINATION ROUND.
 The winning team will advance to the ELIMINATION ROUND, the other two teams will not participate in the ELIMINATION ROUND and their final World Cup rankings will be 10th and 11th positions.

12

Final World Rankings

13

Final World Rankings

ELIMINATION ROUND

November 8 th			November 8 th			November 8 th			November 9 th			November 9 th			November 9 th		
1 st	2 nd	3 rd	4 th	5 th	6 th	7 th	8 th	9 th	1 st	2 nd	3 rd	1 st	2 nd	3 rd	1 st	2 nd	3 rd
World Cup SEEDING GAME (SM 1.1 / SW 1.1) 10:00 / 11:45 World Cup MEN / WOMEN			World Cup SEEDING GAME (SM 2.1 / SW 2.1) 13:30 / 15:15 World Cup MEN / WOMEN			World Cup SEEDING GAME (SM 3.1 / SW 3.1) 17:00 / 18:45 World Cup MEN / WOMEN			World Cup SEEDING GAME (SM 2.2 / SW 2.2) 10:00 / 11:45 World Cup MEN / WOMEN			World Cup SEEDING GAME (SM 3.2 / SW 3.2) 13:30 / 15:15 World Cup MEN / WOMEN			World Cup SEEDING GAME (SM 3.3 / SW 3.3) 17:00 / 18:45 World Cup MEN / WOMEN		
↓			↓			↓			↓			↓			↓		
9			8			7			6			5			4		
Final World Rankings			Final World Rankings			Final World Rankings			Final World Rankings			Final World Rankings			Final World Rankings		

The winning teams of game 1 will advance to the next game 2.2.
 The winning teams of game 2 will advance to the next game 3.2.
 The winning teams of game 3 will advance to the next game 3.3.

1st 2nd 3rd 4th 5th 6th 7th 8th 9th

The teams from 1st to 9th place will advance to the Elimination Round.

Kin-Ball® sport World Cup & International Open KOREA 2024

予選ラウンドを振り返ります。11月5日から大会が開幕しましたが、事前抽選により予選ラウンドの日程が公表されています。予選は3試合行われますが、日本男子チームは、第1試合目は、大会初日にフランス、カナダと、第2試合目は、大会2日目にチェコ、ベルギーと、第3試合は、同じく大会2日目にスペイン、韓国との対戦となっています。日本女子チームは、第1試合目は、大会初日に中国、カナダと、第2試合目は、同じく大会初日にベルギー、スイスと、第3試合目は、大会3日目にフランス、チェコとの対戦となっています。

日本男子チーム ※左からチームカラー ブル（ブルー）／ギリ（グレー）／ノア（ブラック）

- ・予選1試合目 フランス／日本／カナダ 0-4-3
日本とカナダが3ピリずつ取り合い、接戦となるが、最後は、カナダが先に落ち、日本劇的勝利
- ・予選2試合目 日本／チェコ／ベルギー 4-1-1
4ピリ目まで日本2、チェコ1、ベルギー1の展開となるが、実力で上回る日本が2ピリ取り順当勝ち
- ・予選3試合目 スペイン／韓国／日本 1-0-4
4ピリ目にスペインに取られるものの、立て直し、日本順当勝ち

日本男子チーム、予選3戦全勝で準決勝ラウンド進出。

日本女子チーム ※左からチームカラー ブル（ブルー）／ギリ（グレー）／ノア（ブラック）

- ・予選1試合目 日本／中国／カナダ 4-0-0
日本が各ピリオドで順調に点を積み重ね、王者カナダにストレート勝ちの歴史的勝利
- ・予選2試合目 ベルギー／スイス／日本 1-0-4
1ピリオド目、自滅からベルギーに先取されるものの、日本順当勝ち
- ・予選3試合目 フランス／日本／チェコ 0-4-0
3ピリオド目までは、順調に日本が取り、4ピリオドはフランス優位に進むものの、日本逆転でストレート勝ち。

日本女子チーム、日本男子チーム同様に予選3戦全勝で準決勝ラウンド進出。

予選ラウンド並びにクロスオーバーラウンドの結果、男子は、予選ラウンド全勝の日本が1位、2位がカナダ、3位ベルギー、4位フランス、5位スペイン、6位香港、7位チェコ、8位韓国、9位スイスとなりました。女子は、予選ラウンド全勝の日本が1位、2位がカナダ、3位チェコ、4位フランス、5位ベルギー、6位香港、7位スイス、8位中国、9位韓国となり、準決勝ラウンド進出チーム並びに組み合わせが決まりました。

準決勝ラウンドは、大会システムにより予選1位から予選3位チームの予選上位チームとの対戦となります。ここで勝てば決勝進出1番乗りです。

日本男子チーム ※左からチームカラー ブル（ブルー）／ギリ（グレー）／ノア（ブラック）

- ・準決勝ラウンド ベルギー／日本／カナダ 0-4-3
4ピリオド目までは、日本優位に進み、日本3、カナダ1となるが、カナダが意地を見せ、巻き返し、カナダも3ピリオドを取り、大接戦に。最後は、カナダが先に落ち、ベルギーを振り切り、日本が準決勝を勝利し、早々に決勝進出を決めました。

日本女子チーム ※左からチームカラー ブル（ブルー）／ギリ（グレー）／ノア（ブラック）

- ・準決勝ラウンド 日本／カナダ／チェコ 4-3-0
最初から競った展開となり、4ピリオド目までは、日本2、カナダ2の互角の勝負。5ピリオド目は接戦を振り切り日本が先に3ピリオドを取るものの、6ピリオド目はカナダが取り返し、まさにがっぷり四つ。7ピリオド目は、日本優位に進み、日本がカナダを振り切り、日本男子チームに続き、決勝進出を一番乗りで決めました。

男女ともに決勝進出を1回で決めたことで、残りの2チームを決める準決勝システムにより、翌1日が休養日となり、心身ともにリラックスした状態で決勝に臨むことができることとなりました。

準決勝ラウンドの結果、決勝戦は、男子、女子ともに、日本、カナダ、ベルギーとの対戦に決まりました。決勝ともなると、各国の応援にも力が入ります。隣国韓国ともあって、日本からもたくさんの方々が応援に駆けつけてくださり、何より心強い援軍です。

決勝戦は、女子部門から始まります。前回フランス大会のような決勝戦での派手な演出はありませんでしたが、各国の国家斉唱により会場の雰囲気徐々に変わってきます。

日本女子チーム ※左からチームカラー ブル（ブルー）／ギリ（グレー）／ノア（ブラック）

・決勝戦 日本／カナダ／ベルギー 1-4-0 **試合動画** <https://www.youtube.com/watch?v=DWxbPif5QZA>

カナダは決勝ともなると今大会の汚名を返上するべく目の色を変えてこの戦いに臨んできています。1ピリオド目、2ピリオド目をカナダが取り、3ピリオド目は日本が取り返し、4ピリオド目も取ってイーブンにしたいところ。先に日本が10点に到達するもののカナダが意地を見せ、このピリオドを取り、金メダルに王手をかけます。後がない日本は、5ピリオド目に入り、ベルギーが優位に進め先に8点に到達します。このピリオドは、先に日本が落ちてしまい、ベルギーに託すものの、カナダがベルギーを振り切り、カナダが金メダルとなり、11連覇です。日本は、惜しくも銀メダルとなりました。

日本男子チーム ※左からチームカラー ブル（ブルー）／ギリ（グレー）／ノア（ブラック）

・決勝戦 ベルギー／日本／カナダ 2-4-2 **試合動画** <https://www.youtube.com/watch?v=SB1vAguwOJk&t=10s>

序盤から大接戦の展開で、4ピリオド目までベルギー1、日本1、カナダ2で取り合いとなり、5ピリオド目は、ベルギーが取り、日本が後れをとります。ここから日本の快進撃が始まります。6ピリオド目は日本が予選1位の意地を見せ、このピリオドを4点差で快勝し、各国2ピリオドで並びます。このピリオドでタイに持ち込んだ日本は、流れに乗り、7ピリオド目も優位に進め、このピリオドを取り、王手をかけます。8ピリオド目も、序盤、中盤とリードし、日本9点、カナダ6点とカナダが苦しい展開です。カナダの追い上げもありましたが、2点差でカナダを振り切り、2015年スペイン大会以来、2回目の金メダルを獲得しました。2位はカナダとベルギーとのタイブレーク戦でカナダが勝ち銀メダル、ベルギーが銅メダルとなりました。

一方、同時に開催されましたインターナショナルオープンの試合も得点制で実施され、予選は3試合。予選は、1ピリオド11点先取制の完全4ピリオド方式、準決勝及び決勝戦は、3ピリオド先取方式で行われました。

アマチュア部門は、日本からのエントリーはありませんでしたが、プロ部門は、日本から4チームが参加し、決勝は、日本チーム3チームでの戦いとなりました。接戦の末、Leve Sawyerチームが優勝しました。

決勝戦終了後、表彰・閉会式が行われ、ワールドカップMVP及びインターナショナルオープンMVPが選ばれました。ワールドカップMVPは、男子部門は、砂田隼汰選手（日本）、女子部門は、Karol-Anne Côté選手（カナダ）が、インターナショナルオープンMVPは、プロ部門は、工藤康祐選手（日本）、アマチュア部門は、Richard Adámek選手（チェコ）がそれぞれ選ばれました。



各部門MVP表彰(一番右が砂田選手、左から2番目が工藤選手)



日本人初めてのワールドカップ決勝レフリーに選ばれた玉野裕弥レフリー(右から2番目)

今大会の特徴や感想などをいくつか挙げます。

- ・ 5年ぶりのワールドカップ開催でヨーロッパ各国やカナダのチーム状況がわかりませんでした。5年前に出場していた選手も多数いて、新型コロナウイルスのパンデミックの影響を受けて、競技人口の拡大が進んでいないようでした。
- ・ 日本男子チームは、2回目の優勝を飾ることができましたが、初優勝した2015年スペイン大会は、カナダとの対戦がない優勝でしたので、今回、カナダとは予選ラウンド、準決勝ラウンド、決勝と3回戦い、1度も負けることなく、完全勝利での優勝となり、ようやく真の世界一になったと言えます。日本女子チームは、予選ラウンド、準決勝ラウンドとカナダに勝っての決勝でしたが、カナダの緻密な分析力は健在で、今回も勝つことができませんでした。予選ラウンド及び準決勝ラウンドで歴史的勝利を収めるレベルにはありますので、今後は、決勝までの戦い方、決勝戦での戦い方を考えていく必要があるだろうと思われまます。
- ・ ルールに関しては、ダウンワードヒットがしっかり見られていたのと、特にオフェンスゾーン内の選手同士或いはボールと選手との接触によるイリーガルディフェンス、イリーガルオフェンスがルールブックに沿って厳格に取られていました。
- ・ 2023年のアジアカップ同様に主管の韓国キンボールスポーツ連盟スタッフが懸命に運営している姿がとても印象的でした。
- ・ 大会初日に韓国キンボールスポーツ連盟とバス会社との間でトラブルが発生し、初日に18時以降はバスの運行がなく、翌日以降もバスが運行されるか不明との事態となり、初日の日本女子チームの2試合目に差しかかり、日本男子チームは応援途中で帰ることになりました。2日目以降も不安でしたが、韓国連盟の粘り強い交渉もあり、途中でバス会社を変更するなど、2日目以降大会終了まで運行されることになり、トラブルは寸前で回避されました。
- ・ デンマークに日本人夫婦が選手エントリーされていて、デンマークに移住後にキンボールを始められたということでしたが、移住当初は、日本からキンボールの達人が来たとの噂が広まって大変だったと聞きし、デンマークとの国際交流も広げることができました。
- ・ 玉野裕弥レフリーがワールドカップ決勝においてアシスタントレフリーに選出され、日本人レフリーとして初めて決勝で吹くこととなり、日本人レフリーのレベルが評価され大変名誉なことでありました。
- ・ 開会式並びに閉会式において、K-POP、ダンス、テコンドーなど韓国ならではのアトラクションが充実していて、参加者全員が楽しんでいました。
- ・ 動画配信に関しては、2023年アジアカップの経験を踏まえ、韓国キンボールスポーツ連盟の公式ユーチューブチャンネルにて全試合動画提供され、特に決勝戦は、カメラが4台に増え、ドローンも活用し、非常に見ごたえのある動画となっていました。

新型コロナウイルスの世界的流行の影響で5年ぶりのワールドカップの開催となりましたが、これでようやく通常に戻った感があります。次回の国際大会は、2026年開催予定のアジアカップ、2027年開催予定のワールドカップとなります。これら大会については、内容が決定され次第、日本キンボールスポーツ連盟ホームページ、フェイスブックで発表します。



決勝戦前の国家斉唱



女子決勝戦



男子決勝戦



日本男子チーム優勝の瞬間



日本女子チーム表彰式



日本男子チーム

【記録】

- ・大会公式記録 大会公式フェイスブックページ（韓国連盟管理）
<https://www.facebook.com/profile.php?id=61558002350236>
- ・大会配信動画 記録 韓国キンボールスポーツ連盟公式ユーチューブチャンネル
<https://www.youtube.com/@koreakinball>
- ・日本キンボールスポーツ連盟公式フェイスブックページ（2024年11月時参照）
<https://www.facebook.com/JAPAN.KINBALL.sport.FEDERATION/>
- ・キンボールスポーツ日本代表 公式インスタグラム（日本選手管理）
https://www.instagram.com/japan_kinball/

【結果】

Kin-Ball® sport World Cup & International Open KOREA 2024



THE FINAL RANKING

WOMEN (FÉMININ)

1 st	2 nd	3 rd	4 th	5 th	6 th	7 th	8 th	9 th	10 th	11 th	12 th

MEN (MASCULIN)

1 st	2 nd	3 rd	4 th	5 th	6 th	7 th	8 th	9 th	10 th	11 th	12 th	13 th



●継続寄付クラウドファンディング（日本代表応援）・寄付者一覧（順不同）

「応援団」、応援コメントを紹介いたします。

・榎原 哲志さん（広島県）

応援します！

・高木 由人さん（東京都）

「目標、世界制覇！」

・辻 貴雄さん（東京都）

キンボールスポーツを知らない人には知ってほしい！
極めるのなら日本代表へ！

・毛部川 和枝さん（埼玉県）

キンボールスポーツをメジャースポーツに！
たくさんの人に知ってもらいたい、たくさんの人に楽しんでもらいたい、日本代表には世界一になってもらいたい！です！！

・高見 彰さん（兵庫県）

明日のキンボールスポーツのために！！！！

・森 隆治さん（香川県）

頑張ってください！

・本田 禎忠さん（兵庫県）

頑張ってください！
普及支援考えます。

・石岡 聖也さん（宮城県）

キンボールスポーツの普及、日本代表の世界大会優勝目指してがんばってください！

・鈴木 真由美さん（石川県）

頑張ってください！応援しています。

・小椋 亘さん（香川県）

日本全国にキンボールスポーツの楽しさを普及してください。
日本代表選手のみなさんも頑張ってください！

・清水 学さん（東京都）

頑張ってください！
日本代表チームの活躍を期待します。
キンボールスポーツの普及発展を応援しています。

・鈴木 ゆみ江さん（東京都）

キンボールの和と輪がもっともっと広がります様に…

・みっちゃんさん（山形県）

応援してます！頑張ってください！

・まえださん（東京都）

頑張ってください！

・しらいちゃんさん（東京都）

頑張ってください！応援してます。来年のワールドカップで優勝目指せ！

・**上山 洋史さん（大阪府）**

事務局の上山です。個人として普及推進活動、日本代表活動ともに応援しています！

・**城間 義守さん（沖縄県）**

日本代表の活躍によってキンボールスポーツが全国各地に普及することを願っています。
日本代表の選手、関係者の皆さんを応援しています。

・**ペンギンズ高野さん（東京都）**

頑張ってください！

・**松井 外喜子さん（大阪府）**

個人として継続寄付クラウドファンディングの代わりに寄付させていただきます。
普及推進活動と日本代表チームのサポートに使ってください。

応援支援ありがとうございます！ 力になりました！！

男子日本代表が2015年以来の優勝、女子代表も準優勝するという朗報にわき、同時開催されたインターナショナルオープンでも1、2、3位を日本チームが独占するなど日本勢のレベルの高さを世界中に示すことができました。

人々の関係性が「疎」になり、なかなか対面によるコミュニケーションがとりにくくなった時代だからこそ、日本キンボールスポーツ連盟は「共遊：楽しむ-つながる-尊重する」のコンセプトのもと、日本の隅々までキンボールスポーツを届けるため邁進していきたいと思います。今後とも応援支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟 事務局

TEL. 06-6971-9190 e-mail: kin-ball@newsports-21.com

URL <https://www.newsports-21.com/kin-ball/>

